

# Market Watching

市場レポート

テーマ: Weekly Market Report (2006年2月6日～)  
～地政学的リスク再び～

発表日: 2006年2月6日 (月)  
(No. MW-49)

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 鷹峰 義清 (03-5221-4521)

## 今週のスケジュール

### 今週の経済指標・イベント・注目材料

発表日	国	指標・イベント	注目度	コンセンサス	レンジ	前回	備考
2月6日(月)	日本	景気動向指数(12月)・先行D I		80.0	60.0~90.0	54.5	
		一致D I		100.0	100.0	70.0	
	欧州	独製造業受注(12月)	★	+0.3%	▲2.0~+3.0%	+1.3%	前月比
2月7日(火)	米国	—					
	日本	—					
	欧州	独鉱工業生産(12月)		+0.6%	0.0~+1.2%	▲0.3%	前月比
2月8日(水)	米国	消費者信用残高(12月)	★	+42	▲15~+80	▲6	億ドル・前月差
		3年債入札	★★★				
	日本	マネーサプライ(1月)・M2+C D		+2.1%	+1.9~+2.3%	+2.0%	前年比
2月9日(木)	日本	景気ウォッチャー(1月)・現状判断D I		56.2	56.0~56.3	55.7	
	欧州	英鉱工業生産(12月)		+0.4%	▲0.2~+0.6%	+0.6%	前月比
	米国	10年債入札	★★★				
2月10日(金)	日本	消費動向調査(1月)・消費者態度指数		48.0	47.2~48.8	46.7	
		日銀金融政策決定会合(9日~)					
		福井日銀総裁記者会見	★				
2月10日(金)	日本	金融経済月報					
	欧州	英BOE金融政策委員会(8日~)		4.50%	4.50%	4.50%	前回据え置き
	米国	30年債入札	★★★				
2月10日(金)	日本	企業物価指数(1月)・国内	★	+0.1%	▲0.3~+0.3%	+0.2%	前月比
		機械受注(12月):除船電・民需	★★★	+1.8%	▲4.2~+4.9%	+2.3%	前月比
	欧州	仏実質GDP(10~12月)		+0.4%	+0.3~+0.5%	+0.7%	前期比
	米国	貿易収支(12月)	★	▲645	▲675~▲620	▲642	億ドル
		財政収支(1月)		+55	+20~+150	+110	億ドル
2月10日(金)	他	G8財務相会合(モスクワ、~11日)	★★				
		トリノ冬季五輪開幕(~26日)	★				

(注) 市場コンセンサス、予測レンジは各種ベンダー調査に基づく  
注目度は筆者

## 今週の注目点

今週は、日本では消費マインド関連統計、機械受注、そして金融政策決定会合後の福井日銀総裁の記者会見が注目される。機械受注はぶれが大きいのが、概ね堅調な内容になると予想されている。特に注目されるのは1~3月の見通しだが、引き続き堅調な内容となるようだと、日本の景況感はいよいよ一段引き上げられることとなる。

米国では、重めの指標はないものの、約4年ぶりに復活する30年債入札を含めた四半期定例入札が注目される。年金など長期投資家の需要が期待されており、全般的に好結果になると期待されているようだが、果たしてどうか。先週のFOMCで、バーナンキFRBの舵取りがますます不透明になったこと、足下の景気指標は概ね好調な上、需給ギャップがますますタイトになっていることを伺わせる内容のものも散見されており、予想外の波乱もあり得ない話ではない。

今週最大の注目点は原油価格だ。IAEAは2月4日に、イランの問題を国連安保理へ付託することを賛成多数で可決した。同時に、イランはウランの濃縮を進めることを発表、対立はより鮮明となっている。欧州の新聞によるムハンマド騒動も広がりを見せており、地政学的リスク(というよりもイスラム諸国とキリスト教諸国の溝)がきな臭さを急速に増している。このもんだいで、国連は3月までは経済制裁などの議論は行わないとしているが、原油価格にかなりのリスクプレミアムがつく可能性は大きい。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

**【債券市場】**：図表は3～4ページ

先週は、短期金利を中心に上昇。注目されたグリーンスパン最後となる米FOMCは、後任のバーナンキ新議長にフリーハンドの金融政策を託す形の声明文を残し、これまで同様+25bpの利上げを行った。足下の景気指標から判断すれば、先行き利上げが継続するとの見方が残存した格好で、金利は短期ゾーン中心に強含んだ。ユーロ圏では、ECBは予想通り金利を据え置いたが、懸念されたほどの利上げ切迫感は見られなかったことから、落ち着いた格好となった。一方日本では、株価の上昇を背景に金利は上昇基調を辿った。今週は、米国で四半期入札が行われ、3年債、10年債のほか、約4年ぶりに30年債の発行が行われる。先行きの金融政策に関してより不透明になっているなか、景気に対しては強気な見方が多い。一方で、久しぶりの発行となる30年債には年金などの長期投資家の強い需要が見込まれるとされ、入札は好調なものに終わるとの期待がある。週内に注目される経済指標もないことから、入札結果次第で米金利は大きく上下にぶれよう。一方、日本では日銀金融政策決定会合のほか、週末には機械受注が発表されるなど比較的材料は多い。4月にも予想されている量的緩和解除に向かって地固めになると予想され、金利はこれまで通り緩やかな上昇基調を辿ろう。

**【株式市場】**：図表は5ページ

先週は、日本を除く大半の地域で株価は下落。米国では、一部企業の業績見通しが市場予想を下回ったことや、週末に発表された雇用統計で賃金上昇率が予想を上回ったことなどが嫌気された。一方、日本ではこれまでのような一方的な展開とはならなかったものの、全般的に先行きの景気に対する強気な見方が株価を押し上げる形となった。今週は、10～12月期の業績発表も落ち着いた上、経済指標の発表も米欧では目だったものがないことから、金利や原油などが材料となろう。日本では、消費者マインド関連統計や機械受注など、景気面でも注目される指標が発表される。予想しにくい統計であることから市場コンセンサスを対比どうなるかは未知数だが、全般的には良好な内容になると見込まれ、引き続き先行きの期待が株価の押し上げ要因。ただし、原油価格はイラン問題が国連安保理に付託されたことにより波乱含みの展開になると見込まれ、急騰リスクがあり、その場合には株価は世界的にやや調整色を強める可能性がある。

**【為替市場】**：図表は6ページ

先週は、ドルがほぼ全面高。FOMC声明文やその他週内に発表された経済指標で、早期利上げ打ち止め期待がやや後退したことが、ドル高に繋がった。特にドル/円相場は、日銀の武藤副総裁がゼロ金利政策の継続を改めて述べたことから、短期金利の日米格差に着目した円売りドル買いが強まり、週末には一時1ドル=119.40円まで円安が進んだ。今週は、米四半期定例入札と日銀金融政策決定会合後の福井総裁の記者会見、及び機械受注などが注目される。また、週末にはG8財務相会合が行われる。米入札は好結果に終わり金利低下要因となる可能性があるが、金融政策は別問題であり、短期ゾーンに影響は与えにくい。また、日本の機械受注も、ぶれが大きいいため予想以上に強含む可能性も否定できないが、ゼロ金利政策の早期解除期待を高めるには至らないと見込まれる。このため、為替相場は一方向には傾きにくいと考えられるものの、ドルが強含む傾向は暫く続く予想される。

**【商品市場】**：図表は7ページ

先週は、原油価格は下落。米週間エネルギー在庫統計で、ガソリンアンドの在庫が予想以上に増加したことや、米国がイランへの経済制裁を求めないことを表明したことが下落要因。ただし、IAEAはイラン問題の国連安保理への付託決議を可決した一方、イランがウラン濃縮を進めるとしたことなどは織り込まれていない。安保理では、実際に制裁を行うかどうかの議論を3月まで先延ばしするとしているものの、今週の原油価格は相当程度強含む可能性が大きい。

## [債券市場]

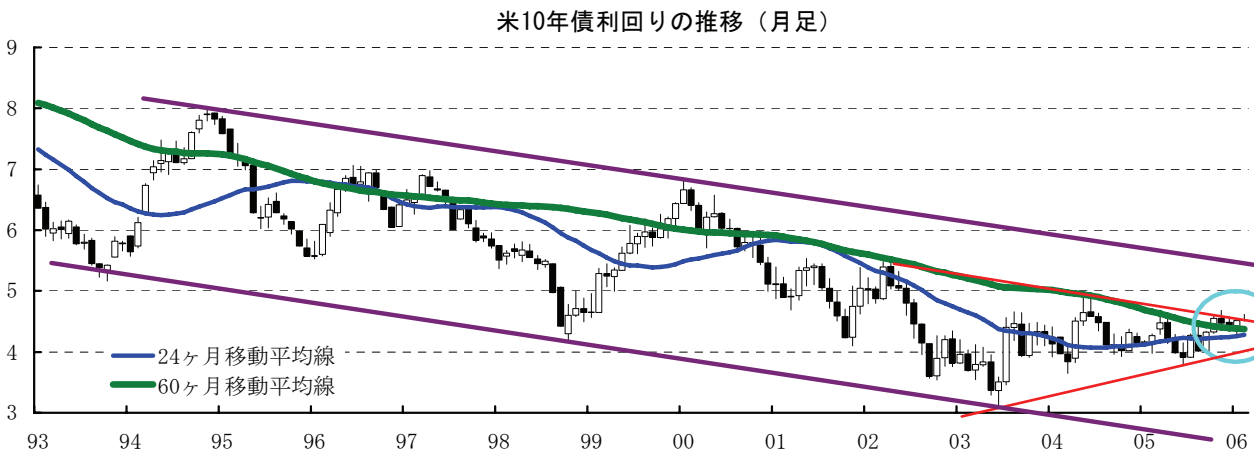
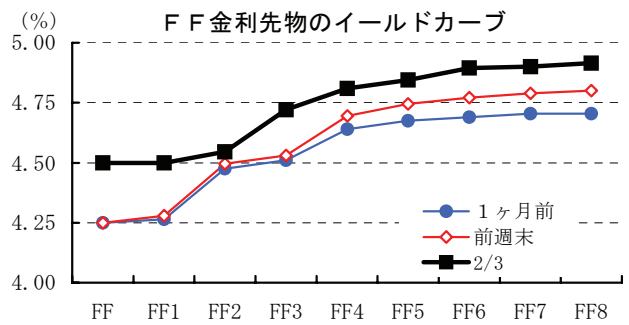
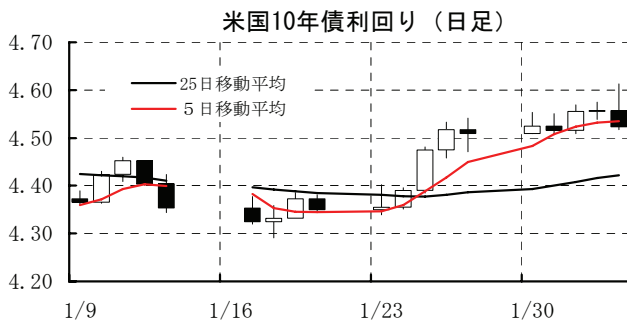
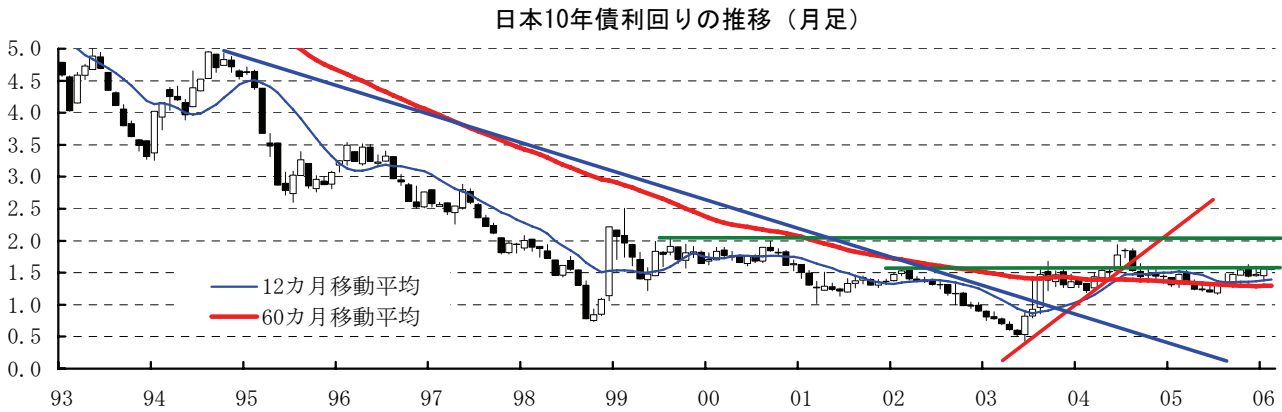
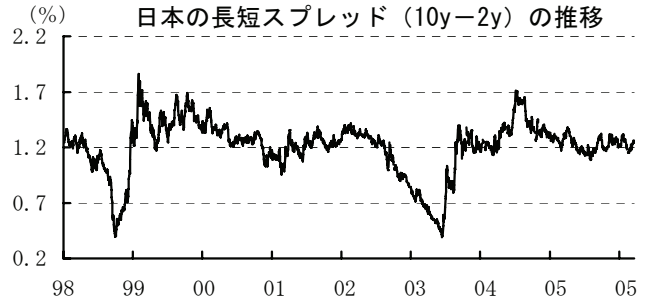
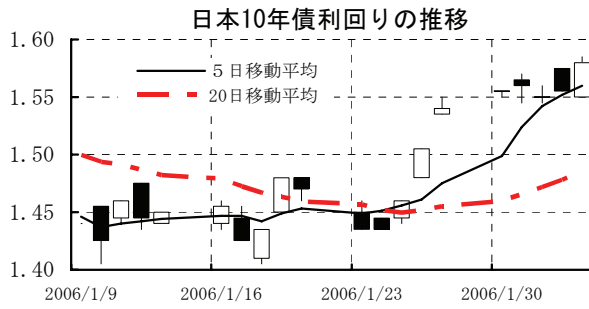
	直近値	直近までの変化率			過去の動き								
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間			
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間	2週間	
2年	日本	0.320	+22	+3	+2	+3	+9	+6	▲6	+6	+1	▲1	+4
	米国	4.566	+123	+24	+8	▲20	+35	+21	+3	▲1	+12	▲6	+14
	イギリス	4.328	▲22	+17	+0	▲6	+9	+13	▲2	▲12	+13	+2	+8
	ドイツ	2.956	+52	+8	+2	▲5	+20	+24	+13	+10	+9	+6	+3
	スイス	1.595	+49	+6	+11	+5	+15	+31	+14	▲11	+4	+7	▲5
	スウェーデン	2.806	+26	+27	▲2	+9	+12	+6	+18	<del>+13</del>	+30	+6	+6
	ポーランド	4.294	▲186	▲29	▲13	▲26	▲6	+45	+9	▲18	▲35	+6	▲3
	カナダ	3.936	+98	+12	+7	▲4	+35	+28	+14	+8	+0	+0	+7
	メキシコ	7.484	▲158	▲26	+8	▲49	▲32	+6	▲25	▲42	▲28	▲19	▲1
	ニュージーランド*	5.825	▲58	N.A.	▲0	▲4	+22	+2	+68	N.A.	N.A.	▲14	▲5
	オーストラリア	5.280	+2	+2	▲2	▲12	+27	+6	▲7	▲5	+4	+3	+10
	韓国	4.984	+94	▲18	+0	▲9	<del>+46</del>	+32	+21	▲2	▲11	▲0	▲3
	シンガポール	2.610	+84	▲14	▲15	+1	+28	+12	<del>+24</del>	+2	+7	▲5	+1
	タイ	4.635	<del>+179</del>	+11	<del>+11</del>	<del>+29</del>	+16	<del>+95</del>	▲23	▲6	▲4	+3	▲16
インド	6.794	+83	<del>+62</del>	+6	+5	+5	▲2	+3	+7	<del>+64</del>	<del>+16</del>	<del>+32</del>	
10年	日本	1.580	+28	+11	+4	+3	+14	+7	▲10	+2	+9	+2	+7
	米国	4.523	+36	+16	+1	▲26	+31	+23	▲7	▲9	+12	▲0	+16
	イギリス	4.184	▲42	+8	▲1	▲16	+13	+5	▲10	▲13	+5	▲2	+16
	ドイツ	3.489	▲7	+16	+1	▲14	+5	+24	+6	▲15	+16	<del>+11</del>	+11
	スイス	2.200	+4	<del>+23</del>	+2	▲7	+1	+22	+6	▲19	<del>+20</del>	+0	+12
	スウェーデン	3.472	▲28	+14	+0	▲6	+5	+24	+10	▲8	+18	+6	+17
	ポーランド	4.993	▲92	▲9	+0	▲17	▲2	+60	+2	▲23	▲5	+8	+4
	カナダ	4.166	▲10	+19	+1	▲8	+18	+20	▲11	▲8	+19	+2	+15
	メキシコ	8.170	▲151	▲8	<del>+5</del>	▲63	▲24	+32	▲32	▲36	▲6	▲12	+6
	ニュージーランド*	5.810	▲15	+9	+1	▲7	+23	+8	▲11	▲12	+10	▲10	+13
	オーストラリア	5.365	+2	+14	+0	▲8	+32	+12	▲10	▲18	+15	+1	+18
	韓国	5.448	+63	▲27	▲3	▲19	+28	+43	<del>+21</del>	▲12	▲18	▲4	▲5
	シンガポール	3.360	+40	+13	+1	+20	+3	+18	+19	▲1	+14	▲2	+4
	タイ	5.421	<del>+66</del>	+5	▲4	<del>+32</del>	<del>+40</del>	<del>+124</del>	▲52	▲60	+7	<del>+11</del>	▲11
インド	7.274	+55	+20	▲1	+12	+0	+1	▲2	<del>+3</del>	+17	▲1	<del>+19</del>	
長短スプレッド	日本	+126.0	+5	+8	+2	+1	+5	+1	▲4	▲4	+8	+3	+3
	米国	▲4.3	▲87	▲8	▲6	▲6	▲4	+2	▲10	▲9	+1	+6	+2
	イギリス	▲14.4	▲21	▲9	▲1	▲9	+4	▲8	▲9	▲1	▲8	▲4	+7
	ドイツ	+53.3	▲60	+9	▲1	▲9	▲15	+1	▲7	▲25	+6	+5	+7
	スイス	+60.5	▲45	+17	▲8	▲12	▲13	▲9	▲8	▲8	+16	▲7	+17
	スウェーデン	+66.6	▲54	▲13	+3	▲15	▲7	+18	▲8	▲22	▲12	▲0	+11
	ポーランド	+69.9	+94	+20	+13	+10	+7	+15	▲7	▲6	+30	+3	+8
	カナダ	+23.0	▲108	+7	▲6	▲4	▲17	▲7	▲25	▲16	+19	+2	+7
	メキシコ	+68.6	+7	+18	▲3	▲14	+8	+26	▲7	+6	+22	+7	+7
	ニュージーランド*	▲1.5	+43	N.A.	+1	▲3	+1	+7	▲78	N.A.	N.A.	+4	+18
	オーストラリア	+8.5	+1	+12	+2	+4	+4	+6	▲3	▲13	+11	▲2	+8
	韓国	+46.4	▲31	▲10	▲3	▲10	▲18	+12	+0	▲10	▲6	▲4	▲1
	シンガポール	+75.0	▲44	+27	+16	+19	▲25	+6	▲5	▲3	+7	+3	+3
	タイ	+78.6	▲113	▲7	▲15	+3	+24	+29	▲29	▲55	+11	+8	+6
インド	+48.0	▲28	▲42	▲7	+7	▲5	+2	▲5	▲4	▲47	▲17	▲14	

(注) 「変化幅」は、直近値までの変化幅。プラスは金利の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化幅(例：4週間=4週間前の週間変化幅、6カ月前=6カ月前の月間変化幅)を示す。

直近値の単位は%、ただし長短スプレッドはbp。直近値以外の単位はbp。

網掛け太字は当該期間で最も低下幅の大きい(上昇幅の低い)金利、太斜字は最も上昇幅の大きい(低下幅の低い)金利を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[株式市場]

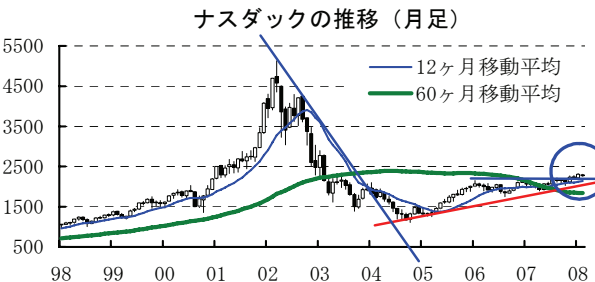
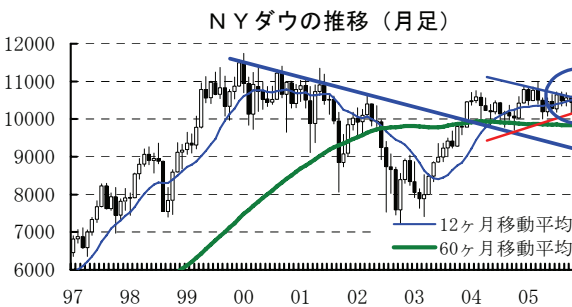
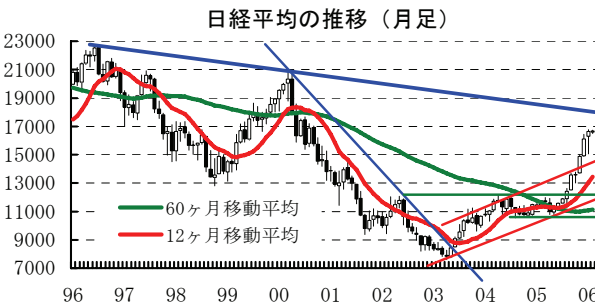
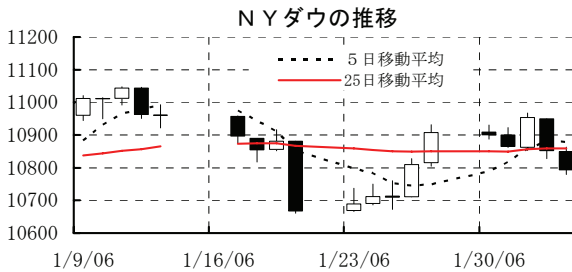
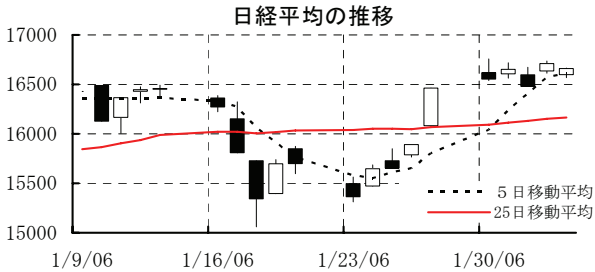
	直近値	直近までの変化率			過去の動き								
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間			
		6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前				
日本	日経平均	16659.64	+46.3	+3.4	<b>+1.2</b>	+4.3	+9.4	+0.2	+9.3	+8.3	+3.3	▲4.6	+4.9
	TOPIX	1707.96	+48.6	+3.5	+1.0	+5.5	+11.1	+2.3	+6.3	+7.4	+3.7	▲3.4	+4.1
	日経店頭	2794.26	+48.8	+3.8	+0.6	+1.2	+2.0	<b>+5.0</b>	+6.4	<b>+13.1</b>	+3.9	▲5.2	+2.4
米国	NYダウ	10793.62	+1.9	▲0.5	▲1.0	▲1.5	+0.8	▲1.2	+3.5	▲0.8	+1.4	▲2.7	+2.2
	S P 500	1264.03	+6.2	▲0.4	▲1.5	▲1.1	+0.7	▲1.8	+3.5	▲0.1	+2.5	▲2.0	+1.8
	ナスダック	2262.58	+10.0	+0.8	▲1.8	▲1.5	▲0.0	▲1.5	+5.3	<b>▲1.2</b>	+4.6	▲3.0	+2.5
	フィアット/ハイパル	528.77	+32.0	+7.2	▲4.0	▲0.1	+0.3	<b>▲9.0</b>	+11.3	▲0.4	+12.4	▲2.7	+7.5
イギリス	FT100	5759.30	+17.3	+1.4	▲0.5	+0.3	+3.4	▲2.9	+2.0	+3.6	+2.5	▲0.7	+2.0
ドイツ	DAX	5657.12	+32.1	+3.6	▲2.2	▲1.2	+4.4	▲2.3	+5.4	+4.1	+4.9	▲2.4	<b>+8.2</b>
欧州	ダウ欧州50	3433.28	+20.6	+1.6	▲0.3	▲0.8	+4.7	▲1.8	+2.0	+2.6	+2.9	▲2.3	+3.0
スウェーデン	ストックホルムOMX	963.14	+28.4	▲0.5	+0.4	▲1.7	+5.5	▲1.5	+3.2	+5.4	+0.2	▲3.2	+2.5
ポーランド	ワルシャワWIG	37221.99	+41.6	+1.1	<b>▲4.8</b>	+3.0	+7.8	▲5.3	+5.9	+4.9	+6.3	+3.8	+0.2
ロシア	RT	1308.13	<b>+99.8</b>	<b>+16.2</b>	▲4.7	<b>+12.9</b>	<b>+14.6</b>	▲7.2	+10.9	+8.5	<b>+16.9</b>	<b>+5.2</b>	+5.3
メキシコ	ボルサ	18862.18	+40.3	+2.0	▲0.5	▲1.2	+13.2	▲2.2	+6.8	+5.8	+6.2	▲2.9	+3.3
ブラジル	ボベスパ	37261.73	+49.8	+7.9	▲1.5	+7.7	+12.6	▲4.4	+5.7	+4.8	+14.7	+2.2	+3.1
アルゼンチン	メルバル	1703.33	+21.7	+6.3	▲2.1	+4.9	+7.2	▲5.1	<b>▲3.4</b>	▲0.7	+16.2	+3.4	+2.2
NZ	ニューゼaland SX50	3378.63	+9.1	+0.2	+1.1	▲0.2	+3.0	▲4.3	+0.4	+1.6	<b>▲0.6</b>	▲0.7	<b>▲0.0</b>
オーストラリア	AS200	4883.80	+17.6	+2.3	▲0.7	+1.3	+4.4	▲3.9	+3.9	+2.8	+3.5	+0.4	+1.3
香港	ハンセン	15429.73	+14.2	+3.2	▲2.1	+0.2	+3.5	▲6.8	+3.8	▲0.4	+5.9	▲0.8	+0.6
韓国	総合	1333.50	+43.6	<b>▲4.4</b>	▲3.7	▲2.5	+12.7	▲5.2	<b>+12.0</b>	+6.3	+1.5	<b>▲6.5</b>	+4.5
台湾	加権	6594.60	+9.3	+0.0	+1.0	<b>▲4.4</b>	+1.4	▲5.8	+7.6	+5.6	▲0.2	▲2.9	+0.7
シンガポール	ST	2431.72	+15.3	+2.6	+0.8	▲3.3	+1.3	▲3.8	+3.8	+2.0	+2.8	▲0.7	+1.0
タイ	SET	747.09	+4.2	+3.0	▲1.9	+3.3	+3.6	▲5.7	▲2.1	+6.9	+6.9	▲1.1	+1.8
インド	ムンバイSENSEX30	9742.58	+47.2	+2.1	▲1.3	+2.2	+10.6	▲8.6	+11.4	+6.9	+5.6	+1.6	+3.7
中国	上海A	1318.91	<b>+1.1</b>	+8.0	+0.0	+7.3	<b>▲0.7</b>	▲5.4	+0.6	+5.7	+8.0	+2.6	+0.2

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは株価の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化率(例: 4週間=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。

直近値以外の単位は%。

網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)株価、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)株価を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



[為替]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間		
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前
日本円	118.94	▲13.9	▲2.4	▲1.4	+1.7	▲2.6	▲2.5	▲2.9	+1.7	+0.5	▲1.0	▲1.8
ユーロ	1.2024	▲7.3	+0.0	▲0.6	+1.8	▲2.6	▲0.3	▲1.7	+0.5	+2.6	▲0.1	▲0.3
イギリスポンド	1.7630	▲6.3	+1.0	▲0.2	+2.6	▲2.2	+0.3	▲2.3	▲0.4	+3.3	▲0.3	▲0.2
スイスフラン	1.2948	▲7.7	▲0.3	▲0.8	+2.8	▲3.3	+0.4	▲2.1	+0.1	+2.7	+0.0	▲0.6
スウェーデンクローナ	7.7157	▲10.7	+1.0	▲1.0	+2.7	▲2.5	▲2.8	▲1.5	+1.7	+4.4	+0.4	+0.3
ポーランドズロチ	3.1768	▲3.0	+0.3	▲0.6	+3.2	▲0.4	▲1.3	▲0.3	+2.2	+3.0	▲1.1	+0.5
ロシアルーブル	28.233	▲0.9	+1.8	▲0.5	+0.5	▲0.1	▲0.3	▲0.8	+0.2	+2.3	+0.6	+0.5
カナダドル	1.1445	+7.8	+1.0	+0.4	+2.9	+2.1	▲1.7	+1.4	+0.3	+2.0	+0.7	+0.3
メキシコペソ	10.488	+5.9	+1.3	▲0.4	▲1.5	▲0.1	▲0.3	+2.1	▲0.7	+1.7	+0.2	+1.0
ブラジルリアル	2.210	+15.1	+5.2	+0.0	+0.9	+5.5	▲1.1	+2.1	▲6.0	+5.3	▲0.2	+3.0
アルゼンチンペソ	3.067	▲4.9	▲1.0	▲0.3	▲1.8	+0.1	▲3.2	+1.2	▲2.2	▲1.2	▲0.1	▲0.7
NZドル	0.688	▲3.7	+0.5	+1.0	+2.3	▲0.7	+1.3	+0.4	▲2.7	+0.7	▲2.8	+0.3
オーストラリアドル	0.7489	▲2.9	+1.2	▲0.1	▲0.2	+0.9	▲1.8	▲1.4	▲0.7	+3.5	▲1.0	+0.2
韓国ウォン	970.15	+5.6	+3.3	+0.1	▲0.7	▲0.8	+0.2	+0.7	+2.3	+4.5	+0.1	+1.6
台湾ドル	32.089	▲1.4	+1.7	▲0.3	▲2.9	▲1.3	▲1.1	+0.1	+2.1	+2.6	▲0.4	+0.5
シンガポールドル	1.6351	+0.2	+1.0	▲0.4	▲1.1	▲0.6	▲0.1	+0.1	+1.7	+2.5	▲0.0	+0.0
タイバーツ	39.36	▲2.3	+3.4	▲0.9	+0.9	+0.6	+0.7	▲1.2	+0.5	+5.1	+1.0	+0.4
インドネシアルピア	9300	▲1.1	+4.1	+0.9	▲5.0	+0.0	+1.7	+1.0	+1.9	+4.7	▲0.9	+0.5
インドルピー	44.20	▲1.8	+1.9	▲0.1	▲1.5	+0.3	▲2.4	▲1.9	+1.9	+2.1	▲0.0	+0.2

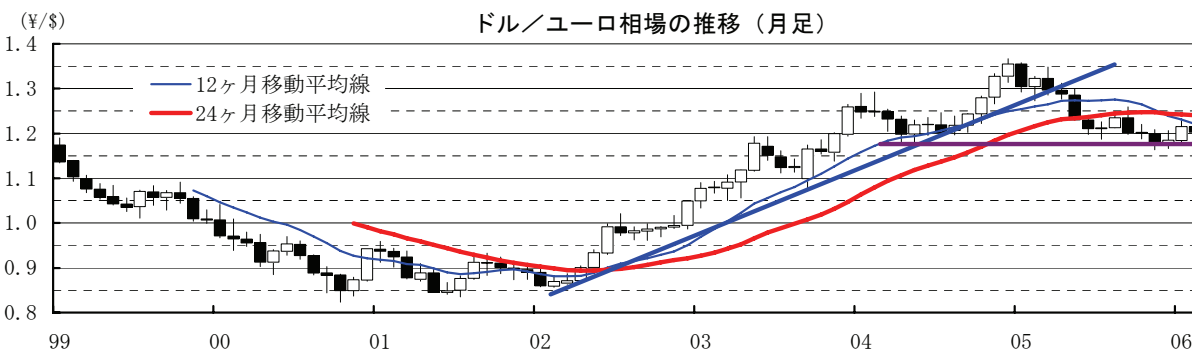
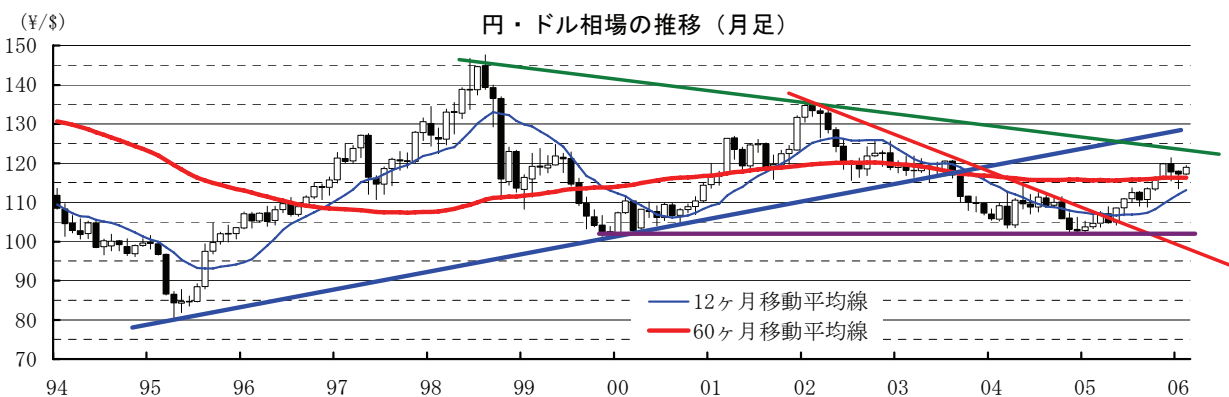
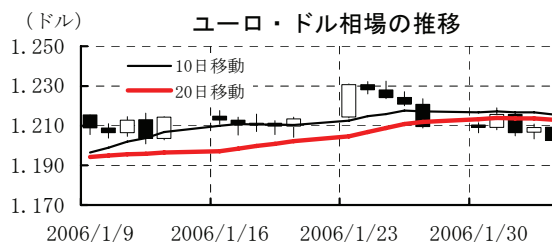
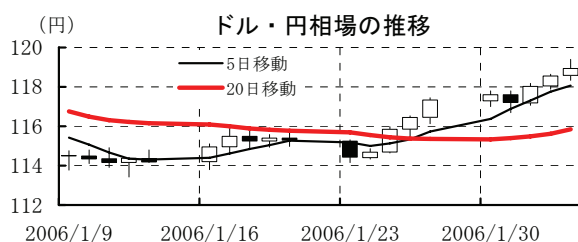
(注) 為替レートは全て対ドルレート。ただし、ユーロ、豪ドル、NZドルは当該通貨から見たドル建て。

「変化率」は、直近値までの変化率。すべてプラスは当該通貨の増価を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週間前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。

直近値以外の単位は%。

網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)通貨、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)通貨を示す。

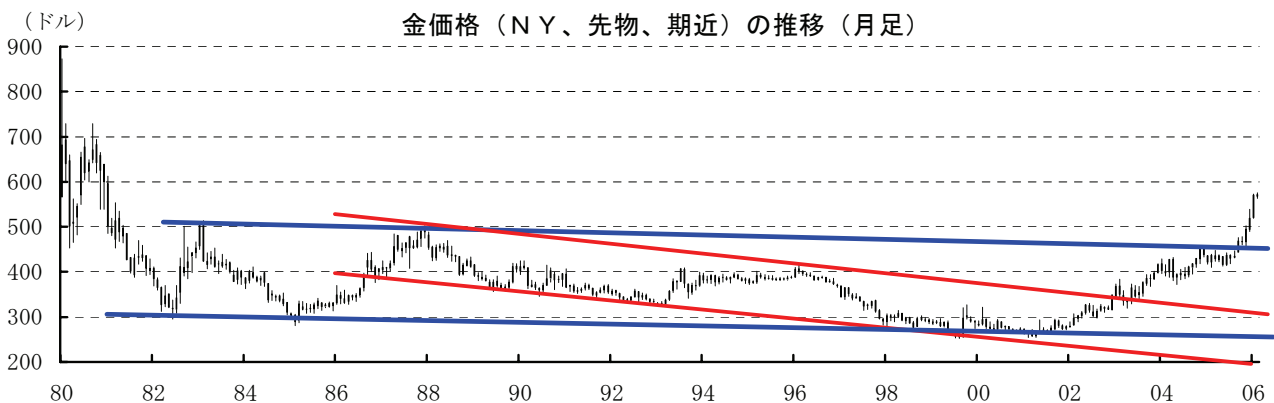
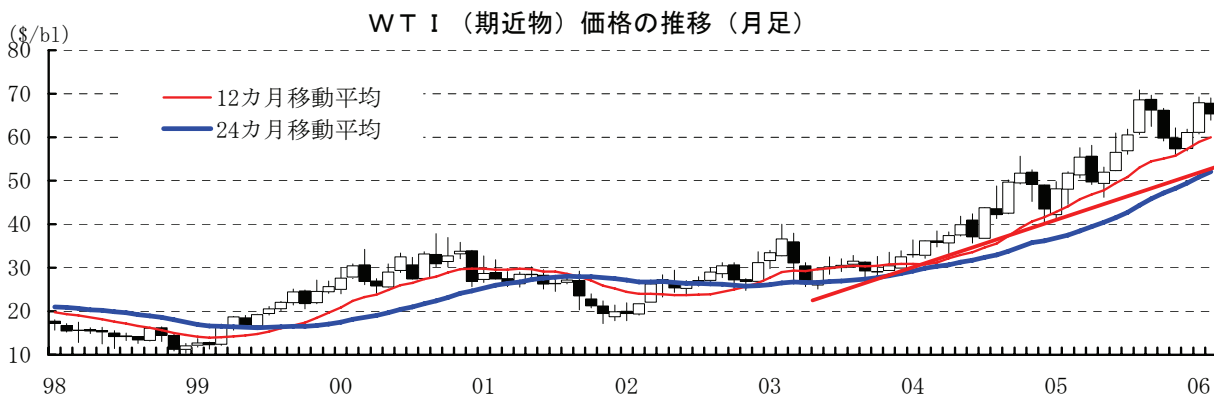
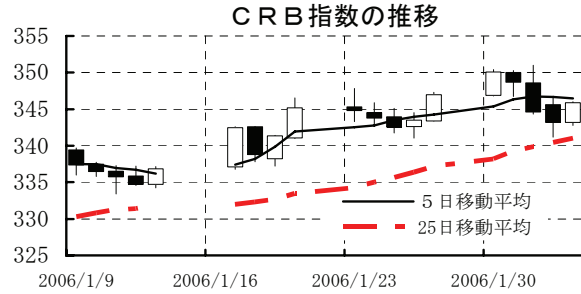
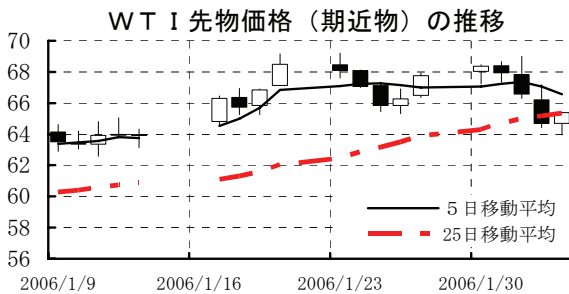


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[商品]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
					月間					週間		
		1年前～	1月前～	前週末～	6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前
WT I	65.37	+40.7	+3.9	▲3.5	+13.3	▲3.5	▲9.7	▲4.2	+6.5	+11.3	+7.1	▲1.1
北海ブレント	63.39	+44.6	+3.3	▲4.3	+12.9	▲5.3	▲8.5	▲5.2	+7.1	+11.9	+6.7	▲0.3
ドバイ	58.91	+55.2	+7.0	▲1.7	+10.8	▲3.8	▲8.4	▲3.8	+5.4	+12.3	+5.2	▲1.1
OPECバスケット	59.49	+46.5	+11.3	▲1.2	+12.7	▲5.0	▲7.4	▲7.5	+4.1	+16.8	+5.7	▲0.3
金 (NY)	567.4	+36.2	+6.6	+1.5	+1.2	+7.8	▲0.4	+5.9	+4.9	+10.0	▲0.5	+0.9
銅 (NY)	231.80	+62.0	+7.1	+3.2	+0.9	+5.8	+5.2	+9.4	+4.2	+3.4	▲1.8	+5.4
アルミ (NY)	120.15	+34.7	+14.6	+4.9	▲0.3	+1.1	+6.1	+7.2	+6.8	+9.9	▲1.0	+4.9
小麦 (シカゴ)	356.50	+22.7	+3.0	+3.8	▲8.0	+14.8	▲8.4	▲4.1	+11.6	+1.2	▲2.5	+5.2
大豆 (シカゴ)	184.00	+22.1	▲7.2	▲1.3	▲14.1	▲8.3	+1.5	+1.2	+14.8	▲6.2	▲1.3	+3.9
コーン (シカゴ)	225.25	+15.5	+2.4	+3.0	▲14.8	+2.0	▲4.5	▲4.5	+15.1	+1.4	▲4.0	+6.7
CRB	345.90	+22.8	+2.8	▲0.3	+5.6	+1.1	▲5.0	▲0.6	+5.6	+5.1	+2.5	+0.5
JOC	124.26	+12.3	+4.9	+1.4	+5.5	+6.7	▲5.0	▲0.2	+1.4	+3.7	+2.0	+0.6
日経商品指数 (17種)	124.67	+18.4	+6.0	+1.8	+0.3	+1.0	+3.1	+1.8	+2.3	+4.8	+1.8	+1.8
日経商品指数 (国際)	121.62	+38.4	+9.8	+0.3	+2.9	+2.5	▲2.1	▲3.0	+6.2	+10.0	+1.8	+2.0

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは商品価格の上昇を示す。  
 「過去の動き」は当該期間の変化率 (例: 4週前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率) を示す。  
 直近値以外の単位は%。  
 OPECバスケット、日経商品指数 (国際) は木曜日、日経商品指数 (17種) は水曜日の値。  
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい (下落率の低い) 商品、太斜字は最も下落率の大きい (上昇率の低い) 商品を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。